

正 誤 表

信州医誌, 73(3) : 125~137, 2025

綜 説

膵癌早期診断法の確立を目指して 信州膵癌早期診断プロジェクト (ALPS-PC <SHINSHU Advanced Lesion Picking-out Surveillance of the Pancreatic Cancer> Project) の始動

下記のとおり論文の訂正をいたします。

訂正箇所 132頁14行目～30行目

● 誤

2022年6月に薬事承認された「パンクレザ®」は、この特性を利用した検査法であり、癌関連の16遺伝子と8種類の既存の腫瘍マーカー (CA-125 CEA, CA19-9, プロラクチン, HGF (Hepatocyte growth factor), オステオポンチン, ミエロペルオキシダーゼと TIMP-1 (tissue inhibitor of metalloproteinase-1 : TIMP-1) を組み合わせることにより、8種類の癌 (卵巣, 肝臓, 胃, 膵臓, 食道 直腸, 肺, 乳房) を診断するマルチキャンサー診断キットである。本検査の特徴は極めて高い特異度にあり、特に卵巣癌, 肝癌に関しては感度・特異度ともに90 %以上と良好な成績が報告されている²¹⁾。しかしながら、膵癌特異的な検査ではなく、また Stage I の膵癌に対する感度は43 %と低値であることから、早期膵癌スクリーニングのための単独検査としては限界があり、費用対効果を考慮しつつ他検査法と組み合わせた診断アプローチが必要と考えられる。

● 正

また、血液中の核酸のうち m (メッセンジャー) RNA を用いた膵癌診断補助用体外診断用医薬品として2022年6月に「パンレグザ®」は薬事承認されている (製造販売承認番号30400EZX00046000)。CA19-9と併用することにより臨床性能試験登録膵癌患者に対する感度、および特異度は85.2 %, 86.7 %と添付文書に記載されている (パンレグザ®添付文書より)。また、Stage I, II の膵癌に対する感度は78.6 %と報告されている (Sakai Y, et al. *Cancer Science* 2019 ; 110 : 1364-1388)。